



ホットでほっとなチーム大浦小 ～熱い思い・優しさ・連携～
 (学校教育目標) ひこぼえの心もち、強く・かしく・美しく生きる子どもの育成を図る

「夢プロジェクト」わくわく教室を行いました!!

このほど、本校の卒業生である同志社大学理工学部長の塚越一彦教授をお招きしました。「母校の子どもたちのために、夢の実現に向けて、現在取り組まれている研究のエピソードを交えて話をしてほしい。」と、今年の春、高校の同級生である塚越教授にお願いをしました。教授は快く承諾していただき、先週、そのことが実現しました。教授は、地元大浦の野崎で幼少期を過ごされ、海や山によく行き遊んだことを懐かしく話されました。『春は潮干狩りを楽しみ、夏はハゼを釣った。林の中のクヌギの木を回り、くわがたやかぶと虫もつかまえた。秋には椎の実やどんぐりをとり、冬はわなかけや牡蠣打ちした。』などの体験をいっぱい話してもらいました。小学生の頃は、勉強をしたという記憶よりも、図書室の本をよく読み、読書感想文を書いたことが学習の基礎となったことを、しみじみと語られました。現在、教授は数多くの論文を執筆されていますが、その基盤になっているのは、実は小学校の頃だったということになります。

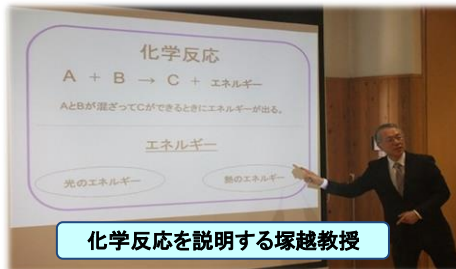
さらに教授は、現在手がけておられる「化学反応」に係る研究の一端を、具体例を挙げながらわかりやすく説明されました。「 $A + B \rightarrow C + \text{エネルギー}$ 」(AとBが混ざってCができるときにエネルギーが出る)ということ、熱エネルギーと光エネルギーのメカニズム(仕組み)について、使い捨てのホッカイロとリストバンドを用いて紹介されました。使い捨てのホッカイロを入れたビニール袋の封を“ビリビリッ”と切ると、カイロの中に入っている鉄粉と酸素が混ざって化学反応を起こし、熱量が発生します。また、使い捨てのリストバンドも同じ理屈で説明できます。折り曲げることにより管の中の小さな管が破れて、管の中で別の液と混ざり合わさって光が発生するのです。暗闇に光るリストバンドは、この仕組みを用いたものです。

現在、塚越教授は同志社大学で研究の中心者として活躍されています。教授が大切にされている言葉に、“Don't Ever Give Up!”(ゼッタイにあきらめない!)というアメリカの名言があります。この言葉を通して、「これまでもそうだったけど、これからは自分の前に立ちふさがるような大きな壁にぶち当たったとしても、私は決して決してあきらめない。」という強い気持ちを持つことが、これから先、生きていくみんなにとって、いかに大切なものなのかを教えてくださいました。

このたびの塚越教授の来校は、大浦小にとって大変すばらしいひと時であり、記憶に残る1ページが刻まれたことと思います。今後の塚越教授のますますのご繁栄をお祈りし、お礼の言葉に変えさせていただきます。



ようこそ先輩「塚越先生」



化学反応を説明する塚越教授



感謝の言葉を述べる児童代表

全校児童で作り上げた平和集会!!

この夏、全校児童が集い、平和集会を行いました。集会では、太良町人権擁護委員である中島康子様から平和の話をいただきました。ご自身が小学生の頃は、戦争についていろいろと教えてもらうことはあまりなく、恐らく体験された方が、話をされることはきっとつらかったからではないかと言われていました。この日紹介されたお話は、4年前に長崎の平和公園で体験されたことで、若いバスガイドが年配の男性に向かって、『この神聖な場所で、そういうことを言うのはやめてください。』と、強く注意されたことが強烈な印象に残っていると話されました。長崎で生まれた彼女にとって、平和公園はただの観光地ではなく、とても大切な場所であることを強く感じさせられ、平和の大切さを改めて認識したと話されました。その後、全員で『青い空は』を歌い、6年生による平和宣言が行われました。そして、10月の修学旅行で長崎に行った際に、みんなで心を込めて作った折り鶴を捧げて来ますとの報告がなされました。

また、この日は平和集会が終了した後に振り返りを行い、さらに原爆投下の時刻に合わせ、安らかに眠る御霊に心を込めて全員で黙祷を捧げました。



平和の話をされる中島さん



全員で黙祷を捧げる

「人権の花」でマイ鉢運動に取り組んでいます!

今年度、本校では「人権の花」運動に取り組んでいます。6月に1回目の花の苗植えを行い、この暑い夏も乗り越え、元気に育ってくれている花もあれば、残念ながら枯れてしまったものもありました。8月末に、2回目の花の苗植えを行いました。今回は、144人の児童それぞれが、マイ鉢（自分の鉢植え）を持っており、毎日水やりをしながら10月の花の鑑賞会（授業参観日）を目指して、丹精に育てているところです。わが子の鉢がどのように育っているかを楽しみにしてください。



全校でマイ鉢運動に取り組んでいます!!

権葉先生に代わって中原先生が着任しました!!

ひこばえ2の担任である権葉由佳先生が、出産のために8月の半ばから産前休暇に入りました。その後任として、中原幸来（ゆき）先生がひこばえ2の担任を務めています。本人の「体力には自信があります。」との言葉通り、昼休みは子どもたちと一緒にサッカーをやっています。子どもからボールを取られると、必死になって取り返そうとしています。中学・高校では陸上競技（駅伝）、大学ではサッカーをやっていたため、少々のことでは負けない体力があります。昼休みの中原先生は、引っぱりだこです。また、本日(9月30日)、権葉先生は無事に男の子を出産しました。



権葉先生から中原先生へ

保護者の皆様のご協力に感謝いたします!

8月28日の佐賀豪雨災害に対し、子どもたちが自主的に救援募金活動を行いました。募金総額は17,625円となり、皆様の温かい真心をお受けすることができました。誠にありがとうございました。また、8月末のPTA除草作業は、急な変更にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご参加をいただき、運動場が見違えるようにきれいになりました。加えて当初予定していた運動場側溝の泥上げは、川下PTA副会長のご好意により行っていただきました。あわせて御礼を申し上げます。



救援募金活動



多くの保護者の協力をいただいた「除草作業」



運動場側溝の泥上げ

がんばりました!おめでとう!みんなの表彰コーナー

- 地区社会科夏季作品展
 - 特選：池田 絢那さん（6年）
 - 入選：船口 佳奈さん（4年）
- 地区七夕書き方会入賞
 - ◎硬筆の部
 - 入選：寺田 采未さん（1年） 竹島 黎那さん（1年） 上戸 菜奈美さん（3年）
 - 上戸 玲奈さん（4年） 赤木 日菜子さん（5年） 塚本 愛花さん（6年）
 - ◎毛筆の部
 - 入選：八田 心春さん（3年）
- ヤング川柳（西日本新聞 7/20付け以降の掲載分）
 - ◎お題：7/20「ヒント」・8/3「スキップ」・8/10「鼻」・8/17「天気」・8/24「迷う」
 - 一席：青い空だれかが見ればみんな見る 大鋸 未来さん（6年）（8/17付け）（8月の月間賞）
 - 二席：はなうたをきいたみんながあつまった 林 佳奈さん（6年）（8/10付け）
 - 次点：ヒントくれぼくの心がさげんでいる 下村 鼓太郎さん（6年）（7/20付け）
 - 〃：わからないそれでもいいよスキップだ 松本 青潤さん（6年）（8/3付け）
 - 〃：友達は人の気持ちを晴れにする 塚本 愛花さん（6年）（8/17付け）
 - 〃：迷うことぜんぶわすれてあそぼうよ 長橋 空那さん（4年）（8/24付け）
- 大浦小学校夏季作品展
 - 1位：大鋸 舞依さん（3年） 2位：永瀨 蒼惟さん（5年） 3位：橋田 大和さん（4年）

大浦小だよりは、大浦小学校ホームページ(<http://cms.saga-ed.jp/hp/oura-e/>)から見る您可以通过。どうぞご覧ください。